

教科名		数学	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	東京書籍	大日本図書
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前学年までの既習事項が目次や巻末にまとめられていて、振り返ることができる。</li> <li>基礎・基本問題にはハートマークが付けられ、節末には基本の問題のみのページが用意されている。</li> <li>章の問題により基礎・基本の定着を図ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の振り返りや、「たしかめよう」などのページを通じて、それぞれの章の基礎・基本の確実な定着が期待できる。</li> <li>使用する文字のフォントが工夫され、そのページの重要事項を早く、確実に見付けることができる。</li> <li>平面図形の内容で、実際に図形を動かして調べることができる「ウェブコンテンツ」が掲載される等、数学の可視化の工夫が施されている。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働的な学びの学習過程を側注に沿って展開ができるため生徒が自ら考え、対話を通して考えを深めることができる。(単元の導入(話し合ってみよう))</li> <li>「大切にしたい見方・考え方」にはイラストを通して、数学的な見方・考え方を振り返ることができる。</li> <li>立体図形や関数などデジタルコンテンツが用意され、シミュレーションから理解を深めることができる。</li> <li>各学年で設定されているデータの活用等に関する領域においては、標本調査などで日常生活に関連したテーマの学習活動が展開されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に問題発見・問題解決の流れや、数学的な見方・考え方を働かせる場面を具体的に提示している。</li> <li>間違い例を問う問題が出題され、生徒の思考力・判断力・表現力を高める工夫が施されている。</li> <li>各章の終わりに活用・探究のページがあり、さらに探究できる内容が扱われている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものに なっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活における数学の活用方法や将来の仕事にどう生かされていくのかの具体例が載せてある(単元の導入時、第1学年「数学×スポーツ栄養士」、第3学年「数学×3Dアーティスト」)。</li> <li>イラストの女子の中には制服としてズボンを履いている生徒が描かれている。</li> <li>各学年で設定されているデータの活用等に関する領域においては、標本調査などで日常生活に関連した学習活動が設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ウェブコンテンツ」「社会にリンク」で、数学と実生活がどのようにつながっているかを見ることができ、生徒の興味・関心を引き付けることができる。</li> <li>各章の導入部分で、運動場のトラックの第1・2レーンの差など、生徒にとって身近な事象や実生活に基づいた題材を扱っている。</li> <li>巻末の「課題学習」のページを通して、日常生活に潜む数学について考えを巡らせ、課題レポートとしての題材とできるよう、工夫がされている。</li> <li>「古くから伝わる連立方程式」に関する題材を掲載する等、歴史と数学との関わりが紹介されており、生徒が数学と身の回りの事象との関わりを意識できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに 向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境」「福祉」「防災・安全」「伝統文化の尊重」などを取り上げ、数学の視点での活用が記されている。</li> <li>現代的な諸課題が盛り込まれ、数学の学びが将来につながることを示されている(とこるところにある「数学×・・・」)。</li> <li>SDGsの種別が表示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「MATHFUL」のページで「フードマイレージ」や、「関数で健康管理」等、ESDの視点が取り入れられた題材が豊富に紹介されている。</li> <li>「学びにプラス」で琵琶湖の水位に触れる等、身近にある自然を題材に使用している。</li> <li>図形の移動で「麻の葉模様」について扱うなど、日本の伝統文化に触れることができる。</li> </ul>
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入では、生徒の関心・意欲を高める日常生活の場面を設定し、「問いかけ」を提示している。</li> <li>数学的な活動が多く設定されているため、生徒間での考えの交流や発表が設けやすい。</li> <li>数学をさらに深めたい生徒には発展的な問題や「数学の自由研究」が用意されている。</li> <li>「クイックチェック」が定期的に設けられており、習ったことの確認がその場で簡単に行える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に問題発見・問題解決の流れや、数学的な見方・考え方を働かせる場面を具体的に提示している。</li> <li>「プラス・ワン」の問題が追加され、学習が進んだ生徒がより発展的な課題に取り組むことができる。</li> <li>三角形の重心などといった発展的な内容も紹介し、生徒が主体的な学びが進められるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会や日常生活の諸問題に対して、数学を使ってESDの考えを養うことにつながる、多摩市の【2050年の大人づくり】に対して、効果的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ウェブコンテンツ」「社会にリンク」で、数学と実生活がどのようにつながっているかを見ることができ、多摩市がすすめる2050年の大人づくりにつながるきっかけとすることができる。</li> <li>「MATHFUL」のページで「フードマイレージ」や、「関数で健康管理」、「点字」など、多様性やSDGsについて考えを深めることができる。</li> </ul>

教科名		数学	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		学校図書	教育出版
発行者名			
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算で扱う数は簡単なものが多く、「計算力を高めよう」のページがあり、章の内容につながる復習をすることができる。</li> <li>・各章の「数学的活動」では、「問題を見つけよう」「説明しよう」「まとめよう」の構成となっており、スモールステップで問題の解決を考えていく構成となっている。</li> <li>・「問いかけ」とそれに対しての目標が記載されていて、取り組みやすい構成になっている。</li> <li>・章末にはまとめとして「できるようになったこと」を文章で確認し、さらに計算問題で定着する形式がとられ、振り返りをする時間が設けられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章の問題に理解度をチェックする◎○△のマークがあり、自身であとから振り返ることができるよう工夫がなされている。</li> <li>・「たしかめよう」の問題の数問を多く示して、反復練習ができるようにしたり、学習のまとめが章ごとに用意したりして、基礎・基本の定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>・各章の初めに、次の章の学習内容に関する既習の知識・技能の振り返り問題が設定されている。</li> <li>・第1学年の素因数分解を、累乗を学習した後に設定するなど第1学年からのつながりがわかりやすく、生徒が3年間数学を学習する上で、流れに沿った順番構成となっている。</li> </ul>
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストの人物同士の会話で、生徒の思考を方向付けし、考え方を導いている。</li> <li>・課題を協働的に解決する数学的活動が設定され、教科書に沿って進めることができる。</li> <li>・立体図形や関数などデジタルコンテンツが用意され、シミュレーションから理解を深めることができる。</li> <li>・章末問題に発展的な問題の設定がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力を高める問いが、章ごとに数問設定されている(章末に「…の活用」、みんなで考える機会の設定)。</li> <li>・問いごとにプロセスのバリエーションがあるなど、解くためのプロセスが細かく設定されており、取り組みやすい工夫がされている。</li> <li>・発展内容(数学の広場)も、思考のためのプロセスが細かく設定されている。</li> </ul>
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドローンを使った撮影範囲は？」(第3学年)や「太陽電池(第1学年)」「エシカル消費(第3学年)」など時代に合った題材を取り上げている。</li> <li>・二次元コードが各ページに用意され、「活動」「別の解き方」「ふりかえり」などすぐにページに沿った内容をコンテンツで対応できる。</li> <li>・各章の「まとめ問題」では、自動車の購入費用と燃費に関する問題など、社会生活に即した問題に取り組む中で、既習の知識・技能を活用して解決方法を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学しごと人(気象予報士、弁護士など)」のように現代における数学の活用されている事例が紹介されており、興味・関心をもつことができる内容となっている。</li> <li>・活用内容として、数学の広場+(巻末「地球温暖化問題」)や高校内容(第3学年「放物線と直線の交点で章の途中で紹介」)など、幅広い資料が掲載されている。</li> <li>・まなびリンク(二次元コード)を活用して、デジタル教材を利用できる。</li> </ul>
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの種別が表示されている。</li> <li>・各章の「まとめ問題」では、自動車の購入費用と燃費に関する問題など、社会生活に即した問題に取り組む中で、既習の知識・技能を活用して解決方法を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル活動(第1学年「比例反比例」)を題材に取り上げるなど、SDGsに即した内容が掲載されている。</li> <li>・国際理解の一環として、記号や式を英語で読む方法など、工夫がされている。</li> <li>・環境問題を数学で解決するなど、現代社会の課題解決につなげる内容となっている。</li> </ul>
B 使用上の 便宜について	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入では、生徒の関心・意欲を高める日常生活の場面を設定し、「問いかけ」を提示している。</li> <li>・数学的な活動が多く設定されているため、生徒間での考えの交流や発表が設けやすい。</li> <li>・ピックの定理や「高校へのかけ橋」など、数学の知識をさらに深めたい生徒に発展的な題材が用意されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の中身が、落ち着いた配色になっていて、見やすい。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントの使用や色覚対応がされていることにより、ユニバーサルデザインを意識したものとなっている。</li> <li>・二次元コードのコンテンツの使いやすしいものとなっている。</li> </ul>
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会や日常生活の諸問題に対して、数学を使ってESDの視点を養うことにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「数学の広場」において、データアナリスト紹介、「データ分析」などを扱い、日常生活や社会との関わりを意識しながら学習を進めるつくりとなっている。</li> <li>・デジタル教材は、最小限の活用できる配置となっている。</li> </ul>

教科名		数学	教科書調査報告(教科書調査委員会)	
調査の観点		発行者名	新興出版社啓林館	数研出版
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元、デジタル教材で補充問題が用意されていて、反復練習ができる。</li> <li>ふんだんに小学校算数の振り返りや、前学年の振り返りに「学びをふり返ろう」のページが用意されており、復習がしやすい。</li> <li>巻末に「力をつけよう」というページがあり、様々な種類の問題に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の始めに「ふりかえり」のページがある。章ごとの基盤となる既習事項を確認することができる。</li> <li>二次元コード「Link補充」を活用することで、繰り返し計算演習を行うことができる。基礎・基本の計算力の向上につなげやすい。</li> <li>巻末に各学年のまとめがある。分野ごとに要点がまとまっているため、系統が見えやすい。生徒が困ったときに見返すことで、容易に振り返ることができる。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末問題の考え方、解答、解説動画(二次元コード)が用意されており、自らの力で解決する能力の育成を図る工夫がなされている。</li> <li>「数学ライブラリー」では、多岐にわたる内容が掲載されていて、深い学びを追究できる。</li> <li>他の人に説明する問題があり、表現力を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の「TRY」を中心に、問題解決型学習の構成となっている。教科書のキャラクターのヒントを基に生徒による自力解決を図ることができる。</li> <li>二次元コード「Link」を活用することで、関数のグラフの特徴などを視覚的に捉えることができる。生徒の考察の幅が広がり、深い学びにつなげやすい。</li> <li>計算問題では式変形の過程が丁寧に記されている。生徒がそれを模範とすることで、数学的な思考力・判断力・表現力を育成する上での土台作りをすることができる。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものに なっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードを読み取る資料や動画がある。</li> <li>教科書そのものに記載されている内容にまとまりがある。</li> <li>数学の歴史から、表計算ソフトの活用まで、幅広い内容が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数や図形の分野を中心に二次元コード「Link」にグラフや図形がまとまっているため、教科書が簡素化されている。ICTを活用することで、より視覚的に資料を捉えることができる。</li> <li>巻末で実生活に数学を応用することができる。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに 向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容を利用して解く問題(巻末「学びを生かそう」)の題材に、SDGsに関連した内容が多く取り扱われている。</li> <li>登場人物がグローバル化・ジェンダー平等を考慮したものとなっている。</li> <li>第1学年から第3学年まで幅広く内容が盛り込まれている(統計・自然環境・防災安全・消費者教育・キャリア教育など)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の冒頭ページに、数学とSDGsとの関連性が示されている。17の目標と各分野とのつながりも明確化されているため、生徒にイメージをもたせやすい。</li> <li>補足のページでは、職業や実生活と数学との関連性について、17の目標と共に触れられている。</li> </ul>	
B 使用 上の 便宜 につ いて	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「〇章のあしあと」として、振り返りを促すよう工夫がされている。</li> <li>「学びを生かそう」では、学習したことがらを活用してレポート作成ができるように工夫がなされている。</li> <li>ノートの工夫した書き方などが掲載されており、学習の進め方に対する助言が施されている。</li> <li>走り幅跳びの地面からの高さや速さの関係を意識できる教材など、身近な題材を豊富に取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ページに二次元コード「Link」がある。計算演習に加え、グラフや図形などを視覚的に捉えることを、1人1台タブレットを通して行うことができるため、学習の個別最適化を図ることができる。</li> <li>第1学年の作図の導入では、巻末の付録を使って「宝探し」をする内容となっている。生徒の興味を引きやすい工夫がされている。</li> <li>各章末に「学んだことを活用しよう」というページがある。ランドルト環をはじめ、紙パックづくりなど、生徒にとってより身近な題材を扱っている。</li> <li>巻末に「学びの自己評価」のページがあり、学習全体の振り返りがしやすくなっている。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材が多い点では、タブレット端末のさらなる活用が促進されるので、地域の実態に即している。</li> <li>紙質の工夫や色覚特性に適應できるようになっている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントの使用や色覚対応がされていることにより、ユニバーサルデザインを意識したものとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コード「Link」が豊富に示され、個々の生徒が確認したいことや、気になることなどをタブレットを用いて確認できる工夫が十分にされている。</li> <li>問題解決型学習の構成となっていることで、課題解決のプロセス作りをすることができる。多摩市の【2050年の大人づくり】に対して、効果的であると考えられる。</li> </ul>	

教科名		数学	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	日本文教出版	
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてが毎回書いてあり、1単位時間で学ぶ内容が明確になっている。</li> <li>・登場人物の吹き出しを用いて、基本的な考え方や解法の方針を記載することにより、問題に取り組みやすくなるようになっている。</li> <li>・振り返りシートが用意され、切り取ってノートに貼るよう工夫がある。</li> <li>・各章の前に「次の章を学ぶ前に」を設定し、既習事項の問題を解いてから次の章の学習に移る設定となっている。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入の問題では右下の欄に、既習事項を使って、当該単元の事象を取り扱うとどのようになるかを考えさせる場面が多く、思考力の向上につながる構成になっている。</li> <li>・「数学研究室」のページにおいて、レポート課題の題材として用いることにより、思考力、表現力が向上すると考えられる題材が多く記載されている。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものにしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学を仕事に生かす」「SDGsと数学」の資料が扱いやすい。</li> <li>・「プログラムと数学」でプログラミング・アルゴリズムが学べる。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESDに関する題材が巻末にあり、「見る」「試す」などのデジタルコンテンツがある。</li> <li>・数学マイトライでSDGsと数学に関する題材を扱っている。</li> </ul>	
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入、展開、利用、どの場面においても、身近な事象や、パズルやゲームのような題材が扱われていて、「考えてみたくなる問題」が多い。</li> <li>・「やってみよう」や「数学のたんけん」では、自ら調べて研究する題材がある。</li> <li>・各章に「身近なことがら」のマークが掲載されており、自動車の速さと停止距離との関係を考える問題が設定されているなど、日常生活の事象を数学的に考える活動が用意されている。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESDに関する題材が巻末にあり、「見る」「試す」などのデジタルコンテンツがある。</li> <li>・「数学マイトライ」でSDGsと数学に関する題材を扱っている。</li> </ul>	